

A blue starburst badge with the word "NEW" in white capital letters.An orange starburst badge with the text "V4.3" in white.

一部の機能が強化されました！

# ConMas i-Reporter Excel定義ファイルのDirect Input 操作説明書

---

2015.09.01

Designer

Ver.5.0

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2013-02-18	V2.2	--	初版を発行しました。
2013-03-14	V2.3	--	EXCEL Add-in画面の機能強化に関して追記。
		--	EXCEL取込時の計算式変換機能追加。SUM関数に対応。
2013-04-23	V3.0	--	EXCEL Add-in画面強化。「フリースロー」「手書きフリーメモ」のクラスター種別の切替機能の追加。
		--	EXCEL取込時の計算式変換機能強化。四則演算に対応。 また、時刻計算クラスターの計算式も自動変換可能に対応。
2013-08-19	V3.1	--	EXCEL関数（IF、ROUND、AVE、MIN、MAX、STDEVP）に対応
		--	計算式、EXCEL関数の再取込みに関して追記。
2013-11-29	V3.1	--	EXCELファイルの書式反映に関して追記。
		--	IF関数内に別のIF関数を記述した計算式クラスターを指定可能に対応
2014-03-24	V3.2	--	EXCEL取込み時のチェック処理確認メッセージの表示/非表示設定に関して追記
2014-05-29	V4.1	--	「iPad, iPhone版の設定」「Windows版の設定」のリスト切替を追加。 「フリースローを使用」「手書きフリーメモを使用」のリスト切替を廃止。
2014-06-30	V4.2	P7、P9	EXCEL2013への対応を追記。
		P11	EXCELファイル上にオブジェクトが存在する場合の注意点を追加。
2015-01-16	V4.3	--	EXCEL計算式の取込み仕様制限が変わりました。
		P51	V4.2バージョン以前のEXCEL計算式取込み仕様制限説明をマニュアル末尾に移動しました。

# 改訂履歴

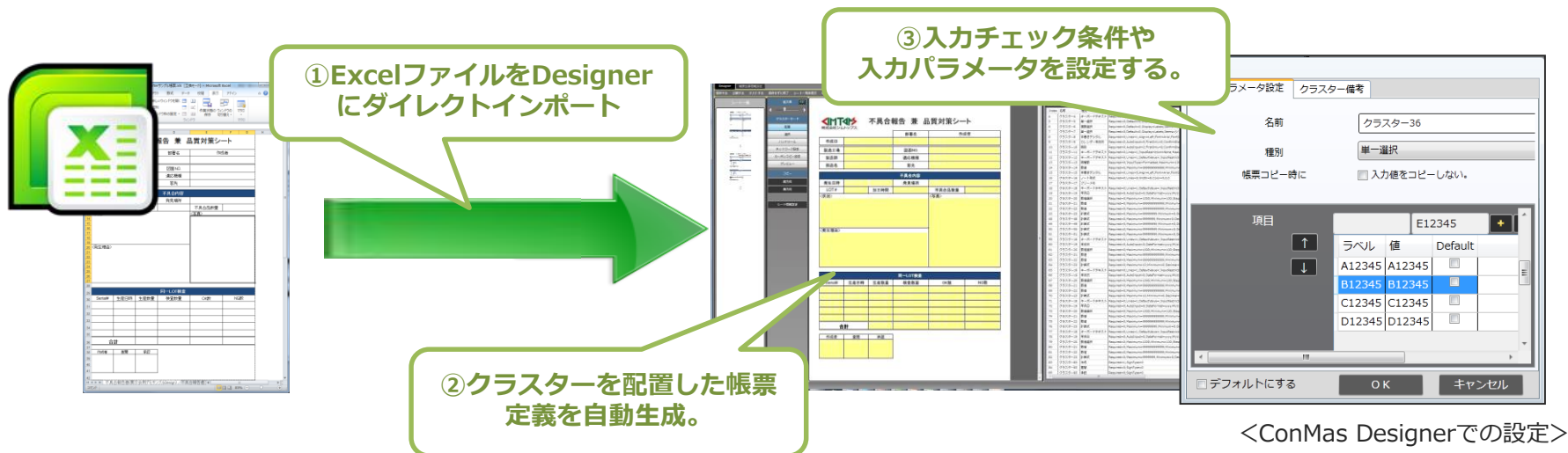
日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2015-08-18	V5.0	P14	EXCELファイル取込みの制限について追記。
2015-08-26	V5.0	P44～48	EXCELファイル取込み時の確認メッセージのうち、一部を廃止しました。
2015-09-01	V5.0	P37～42	対応用紙サイズを追記。

# 目次

- Excel Direct Input とは？
- Excel Direct Output とは？
- 1. Excel Direct Inputの概要
- 2. 動作環境と取込可能なファイル形式
- 3. Excelに貼り付ける画像ファイルの制限
- 4. Excelファイル作成時のバージョンによる制限
- 5. Excelファイルの各要素と帳票定義の関連
- 6. Excelファイル名と帳票定義
- 7. Excelファイルのシートと帳票定義シート
- 8. Excelファイルのセルと帳票定義クラスター
- 9. クラスター設定用のEXCELアドイン
- **V4.3 1 0. 計算式とEXCEL関数の取込み**
  - 1 1. シートの印刷範囲の設定
  - 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み
  - 1 3. 操作説明Excelファイル取込み後の設定
  - 1 4. 取込後の操作制限について
- **V4.3 V4.2以前のバージョンにおけるEXCEL計算式取込み仕様制限**

# Excel Direct Input とは？

- **Excelファイルをそのままダイレクトに取り込み可能。**  
**帳票定義の設計時間を、大幅短縮します。**
  - Excelにおいて帳票定義を作成します。クラスターとなるセルに種別などを設定します。結合セルにも対応しています。
  - Excelのクラスター設定用専用アドインで簡単に設定できます。
  - その**ExcelファイルをダイレクトにDesignerに取り込めば、クラスターを自動配置した帳票定義を自動生成**します。
  - 背景画像は、Excelを内部印刷して、PDFを自動生成します。
  - Designerで詳細の入力パラメータ、チェックルールなどを指定します。



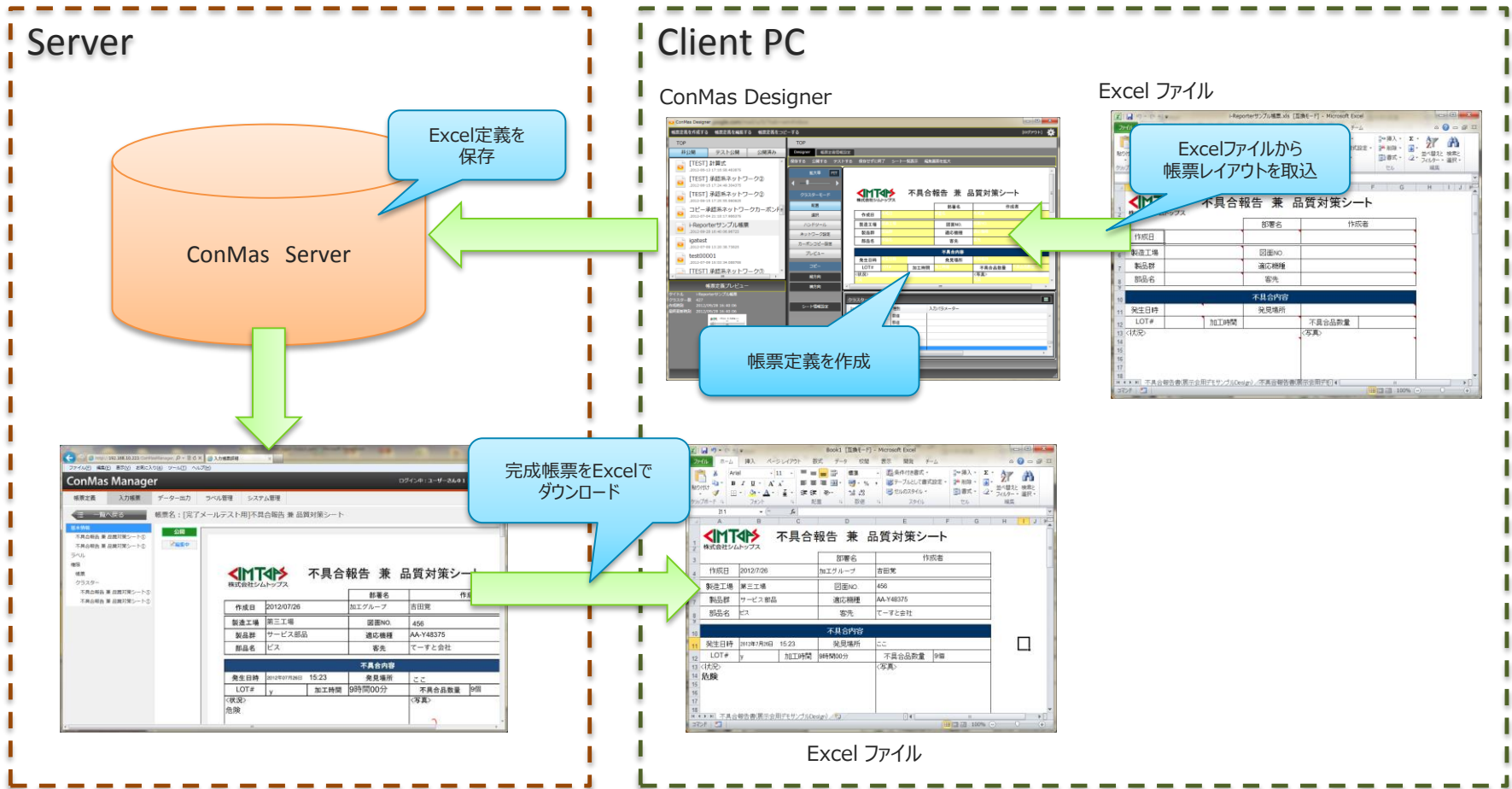
# Excel Direct Output とは？

- Excelファイルの帳票定義から作成した帳票は、**帳票をExcelファイルとしてManagerからダイレクトに出力できます。**
  - 帳票Excelファイルは、**iPadで入力されたテキスト値や写真、印影なども、そのままインプットされた状態で出力することが可能です。**
  - Excel Direct Outputの操作マニュアルはManager編をご参照ください。



# 1. Excel Direct Inputの概要

- Excel Direct Inputは、ConMas i-Reporterより入力する帳票の定義を、Excelファイルから取り込むことにより、通常Designerから行う定義作成をサポートする機能です。
- 取り込んだExcelファイルはサーバーに保存され、該当定義から作成された帳票が完了すると完成帳票の入力内容が反映されたExcelファイルとして、ダウンロード出力することが可能になります。



# 2. 動作環境と取込可能なファイル形式

## • 動作環境

- 本機能をご利用の際には、DesignerがインストールされたPC環境に下記のいずれかのOffice製品のインストールが必要となります。

 **Microsoft Excel 2013** V4.2より可能となりました。

- Microsoft Excel 2010
- Microsoft Excel 2007 (Service Pack 2 以降)

- ※Excel 2003以前のOffice製品は動作対象外となります。
- ※Office製品はWindows Updateを実施の上、最新の状態でご利用下さい。

## • 取込可能なファイル形式

- 本機能では、以下の形式のExcelファイルの取込をサポートしています。

- Excel 2007-2013 ブック (.xlsx)
- Excel 97-2003 ブック (.xls)

- Excelファイルの作成時のOfficeバージョンが、2003の場合には .xls、.xlsxの両方の形式において、それぞれ制限事項がありますのでご注意ください。



# 3. Excelに貼り付ける画像ファイルの制限

- ワークシートに画像ファイルを図として挿入する際には、次のファイル形式のものをご利用ください。
  - これ以外の形式の画像ファイルは使用できません。
    - PNG 形式 (\*.png)
    - JPEG 形式 (\*.jpg, \*.jpeg, \*.jfif, \*.jpe)
    - Windows ビットマップ (\*.bmp, \*.dib)
    - GIF 形式 (\*.gif)

# 4. Excelファイル作成時のバージョンによる制限

- 取込元となるExcelファイルの作成時のOfficeバージョンが、2003の場合には .xls、.xlsxの両方の形式において、それぞれ制限事項がありますのでご注意ください。

制限事項を回避するために、Excel Converterをご利用ください。（詳細は次ページ）

Excelファイル作成バージョン別 対応状況

 V4.2より可能となりました。

作成時のOfficeバージョン	2003		2007		2010		2013	
Excelブック形式 (.xls…97-2003形式) (.xlsx…2007-2010形式)	.xls	.xlsx	.xls	.xlsx	.xls	.xlsx	.xls	.xlsx
	2003 オリジナルのまま	2003オリジナルを.xlsxに変換	2007オリジナルを.xlsに変換	2007オリジナルのまま	2010オリジナルを.xlsに変換	2010オリジナルのまま	2013オリジナルを.xlsに変換	2013オリジナルのまま
表作成	△1	△4	○	○	○	○	○	○
画像の挿入	△2	○	○	○	○	○	○	○
オートシェイプの挿入	×3	×5	○	○	○	○	○	○

<制限事項> 以下の制限事項の設定のないものであれば対応可能です。

- 作成元2003 でファイル形式が .xls→2003オリジナルのまま

- △1 : セルに行の高さに収まらないフォントサイズを設定した場合には、Designerへの取込み時に、行の高さが勝手に大きくなる場合があります。
- △2 : 「画像のグループ化」は使用できません。グループ化した画像が正しく表示されません。
- ×3 : EXCEL2003のオートシェイプは使用できません。オートシェイプを画像化した上で貼り付けて下さい。

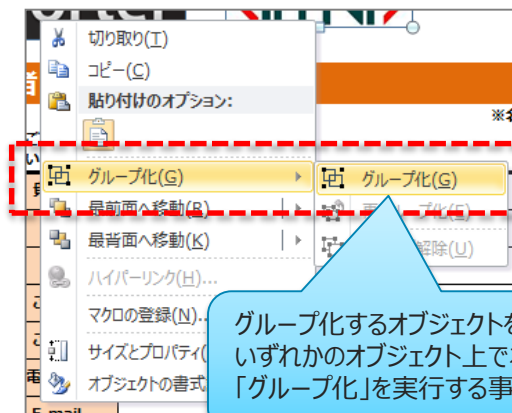
- 作成元2003 でファイル形式が.xlsx → 2003オリジナルを、互換パック,2007,2010のいずれかで.xlsxへ変換し保存したもの

- △4 : 画像が貼り付けられるクラスター(印影など)のセルを設定した場合には完成帳票のExcel出力時に、それらの画像の位置が、セルからずれる場合があります。
- ×5 : EXCEL2003のオートシェイプは使用できません。オートシェイプを画像化した上で貼り付けて下さい。

# 4. Excelファイル作成時のバージョンによる制限

V4.2

- Excelファイル内に画像やテキストボックス等のオブジェクトを配置される場合は、すべてのオブジェクトをグループ化して下さい。グループ化をしない場合はConMasへ取込みを行った際にオブジェクトが非表示となります。オブジェクトが1つの場合もダミーとなる透明なオブジェクトを作成して頂き、グループ化を行って下さい。

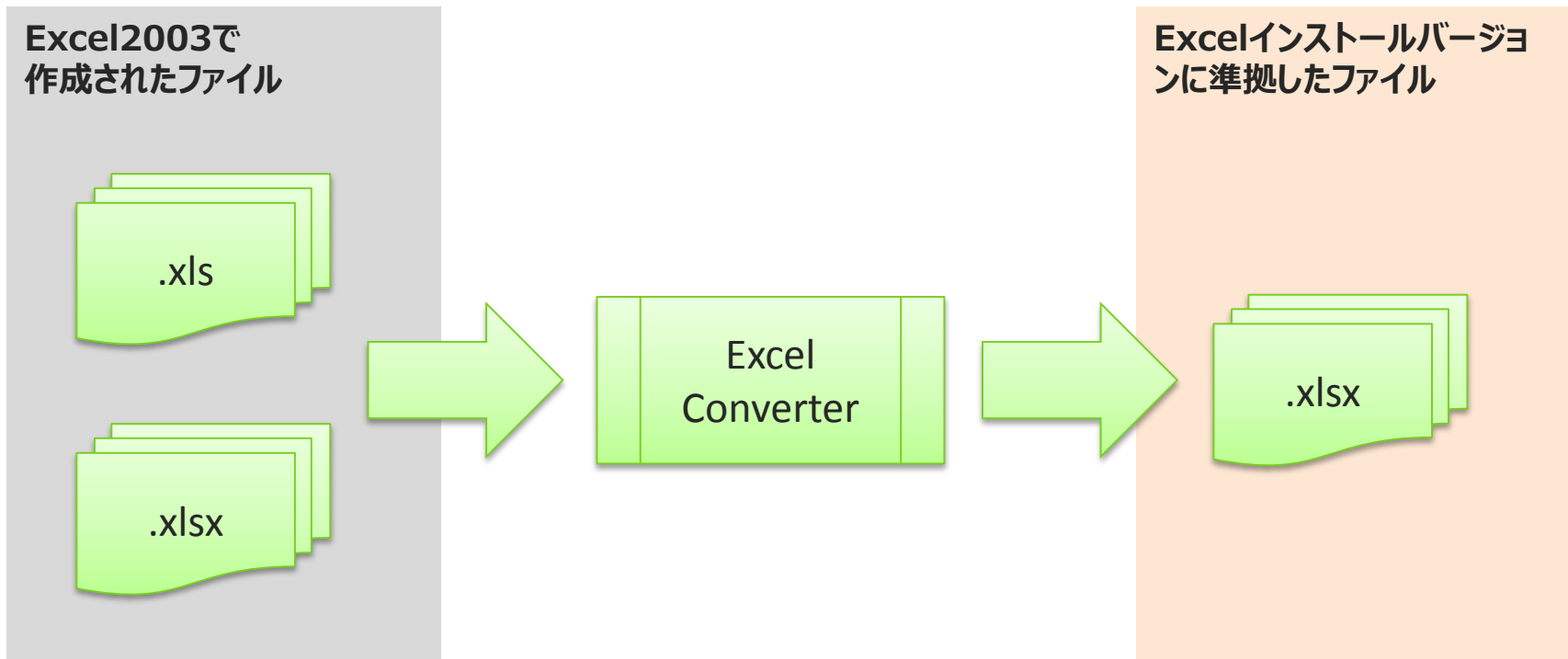


- オートシェイプの場合はConMasへ取り込んだ際にグラデーション情報等が正常に取り込まれない場合があります。そのため、オートシェイプを使用する際は、ペイントツール等でオートシェイプを画像化した上で、画像オブジェクトとしてEXCEL上に貼り付けて下さい。



# 4. Excelファイル作成時のバージョンによる制限

- Excel2003で作成されたファイルは、取込前にExcel Converterによって変換をかけて頂くことで、前述の制限事項を回避することが可能です。
- Excel Converterは古いバージョンで作成されたファイルを、Designer端末にインストールされているExcel準拠のファイルに変換するツールです。
- Excel Converterの操作についてはExcel Converter 操作説明書をご参照ください。



# 4. Excelファイル作成時のバージョンによる制限

- また、EXCELファイルの「名前の定義」に参照先が不正のものが存在すると Designerへの取込時にエラーとなります。予め削除しておいて下さい。

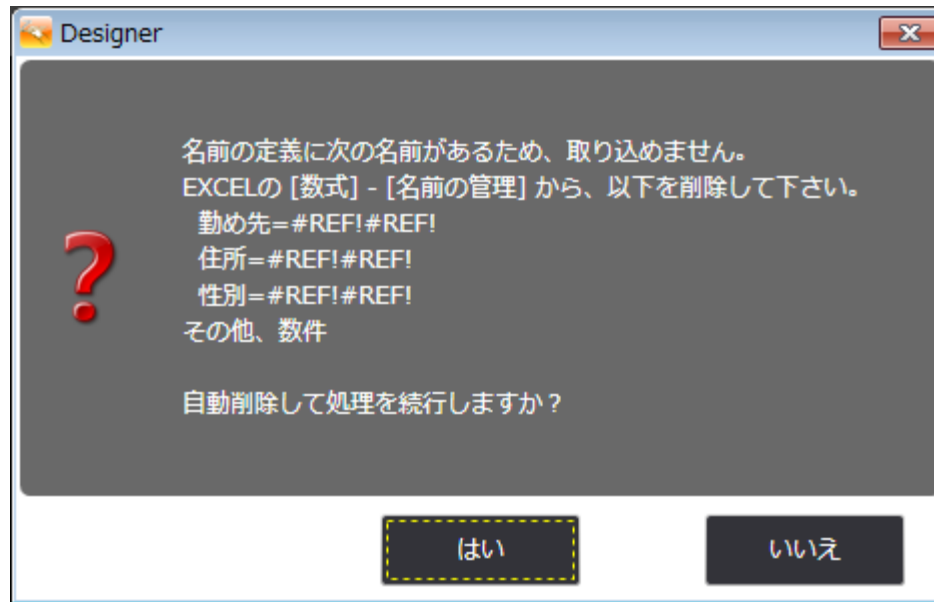
・「名前の管理」画面の起動（画像はEXCEL2010の場合）



## 4. Excelファイル作成時のバージョンによる制限

- V5.0より、参照先が不正な「名前の定義」を自動的に削除して取込を続ける選択が可能になりました。

(※「はい」を選択しても、元のEXCELファイルが上書きされることはありません。)



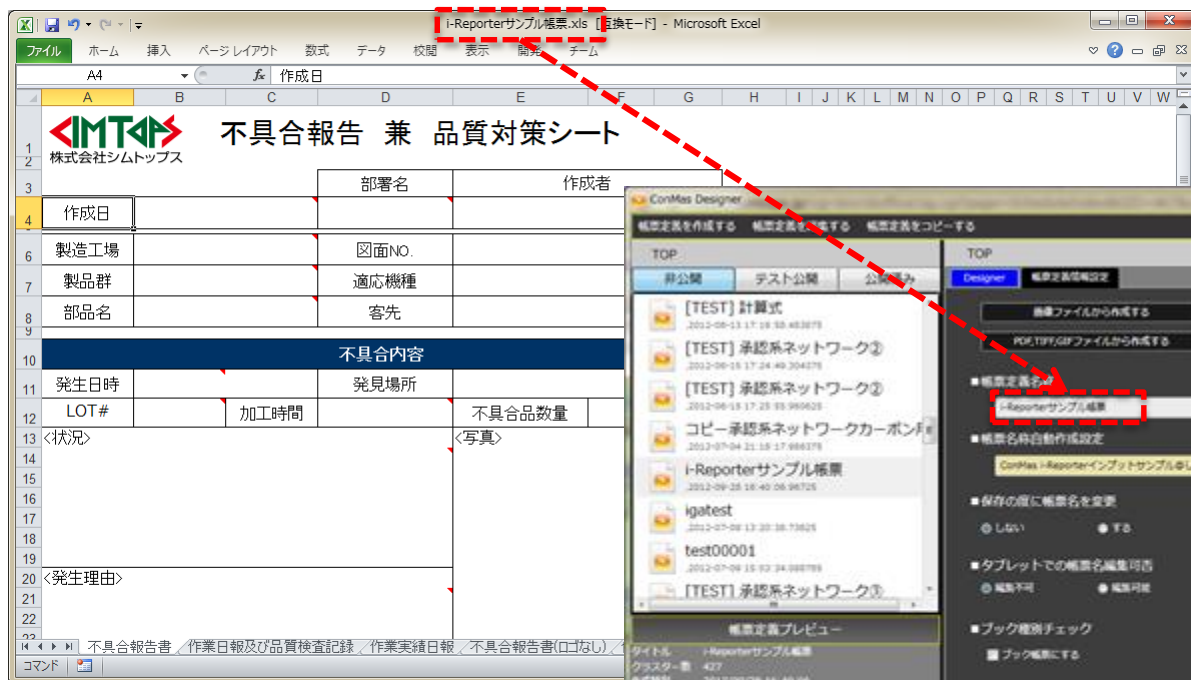
# 5. Excelファイルの各要素と帳票定義の関連

- Excelファイルの各要素とi-Reporterの帳票定義の各要素との関連は下記のとおりです。

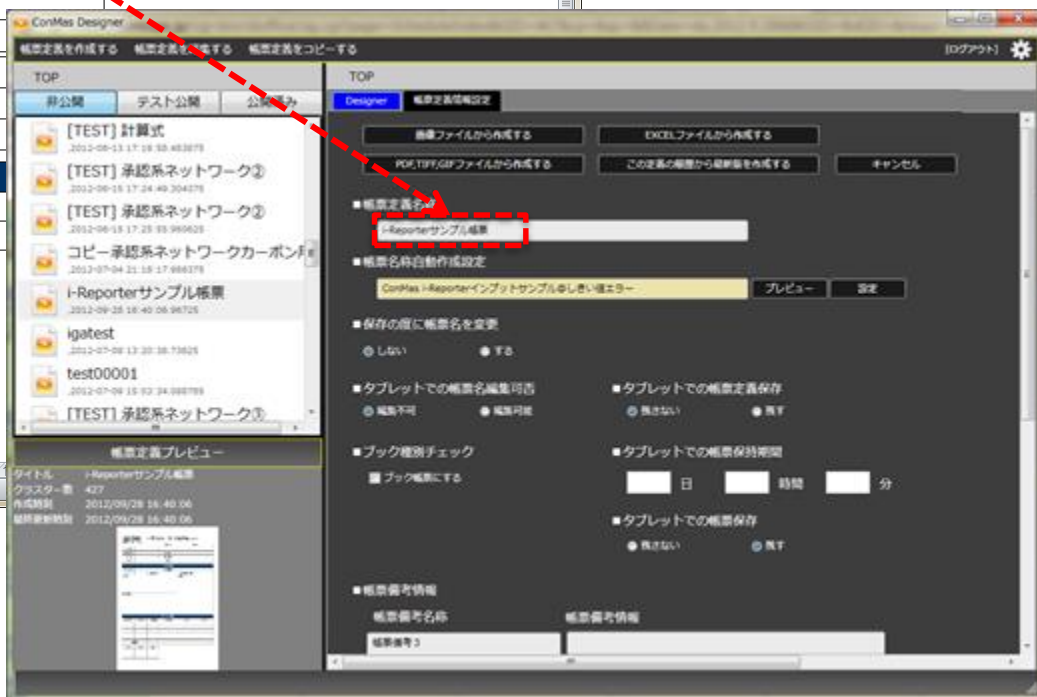
Excel要素	i-Reporter帳票定義	説明
ブック（ファイル）	帳票	ファイル名が帳票名称に設定されます。 Designerで変更も可能です。
ワークシート	シート	ワークシートが帳票シート名称に設定されます。 Designerで変更も可能です
セル	クラスター	セルに決められたコメントを設定します。

# 6. Excelファイル名と帳票定義

- 帳票定義元のEXCELファイル名（ブック名） = 帳票定義名称
  - Excelファイルのブック1つが、i-Reporter帳票定義の1つに対応します。
  - Excelファイル取込時、そのExcelファイル名が帳票定義名称として設定されます。



取込元のExcelファイル



取込後のDesigner画面



# 7. Excelファイルのシートと帳票定義シート

## ● 帳票定義元のEXCELファイルのシート=シート定義名称

- Excelブックのワークシート1枚が、帳票定義のシート1件に対応します。
- 複数ページの帳票定義を作成する場合は、シートを複数に分けて作成します。
- ワークシートの左から順にシート定義が作成されます。
- またその際、ワークシート名がそのままシート定義名称に反映されます。

取込元のExcelファイル

取込後のDesigner画面

# 8. Excelファイルのセルと帳票定義クラスター

## ● 帳票定義元のEXCELファイルのセル = 帳票定義クラスター

- Excelブックのワークシートのセルが、帳票定義のクラスターに対応します。
- 帳票のレイアウトに応じて結合セルを作成してください。
- クラスターとしたいセルには、クラスターに設定したいセルについては決められた条件でコメントを挿入します。クラスター設定用のアドインも用意されています。

The image illustrates the process of defining a cluster in Excel and its corresponding layout in ConMas Designer. It shows two windows: Microsoft Excel and ConMas Designer.

**Excel Window (Left):** Displays a spreadsheet titled "不具合報告" (Defect Report) for "株式会社シムトップス". A blue callout box indicates: "【記入例】 1行目に作成日 2行目にDateを設定" (Example: Set creation date in row 1, Date in row 2). A red dashed box highlights the "作成日" (Creation Date) cell in row 1, column B, and the "Date" cell in row 2, column B. A green arrow points from this area to the Designer window with the text "Designer取込後..." (After Designer import...).

**ConMas Designer Window (Right):** Shows the "不具合報告 兼 品質対策シート" (Defect Report and Quality Countermeasure Sheet) layout. A red dashed box highlights the "作成日" (Creation Date) cell in the layout, which corresponds to the Excel cell. A blue callout box explains: "クラスター名称：1行目に記入した作成日" (Cluster name: Creation date entered in row 1), "クラスター種別：2行目に記入したDate (年月日)" (Cluster type: Date (month/year/day) entered in row 2), and "Indexは左上から右下へ向かって採番されます。" (Index is numbered from top-left to bottom-right).

Below the Designer window, a "クラスター一覧" (Cluster List) table is visible:

Index	クラスター名	種別	Left	Right	Top	Bottom
0	作成日	年月日	0.171705	0.4135429	0.1382554	0.1644812
1	部署名	選択	0.4155582	0.5921	0.1382554	0.1644812
2	作成者	キーボードテキスト	0.5941153	0.9488109	0.1382554	0.1644812
3	製造工場	キーボードテキスト	0.171705	0.4135429	0.1701824	0.195553
4	図面NO.	キーボードテキスト	0.5941153	0.9488109	0.1701824	0.195553
5	製品群	キーボードテキスト	0.171705	0.4135429	0.1969783	0.2220639
6	部品名	キーボードテキスト	0.5941153	0.9488109	0.1969783	0.2220639

取込元のExcelファイル

取込後のDesigner画面

# 8. Excelファイルのセルと帳票定義クラスター

## • EXCELファイルのセルの書式設定反映

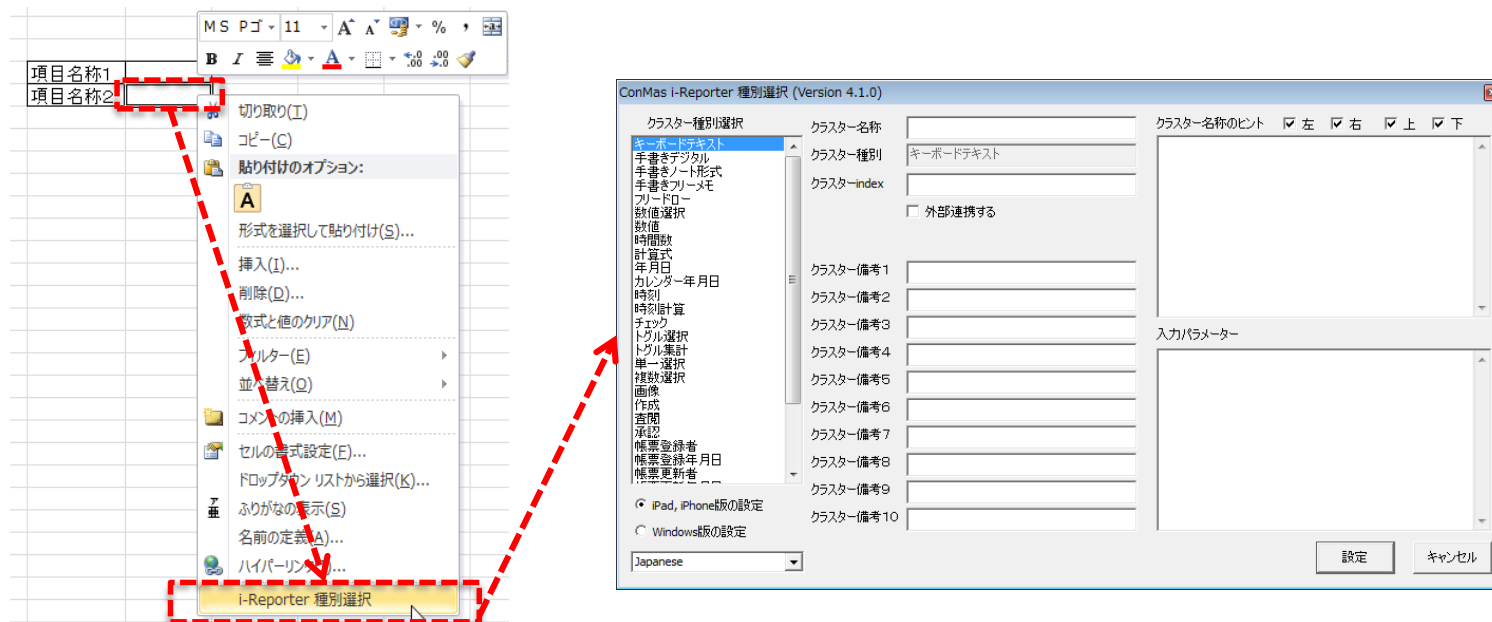
- Excelファイル上で設定したセルの書式設定の一部をDesigner取込み時にConMasのクラスター設定へ自動反映します。
- 反映される書式設定は、「文字サイズ」「太さ」「配置指定」の3つです。

Designer取込後

※BoldとItalicが両方設定されている場合はBoldが優先設定されます。

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

- クラスター設定用EXCELアドインをあらかじめPCにインストールしてください。
- クラスター設定用EXCELアドインを使用して、クラスターにしたいセルの情報を設定します。
- クラスター設定用EXCELアドイン画面の起動
  - クラスターとしたいセルを選択（複数可）して右クリックのプルダウンメニューを表示します。
  - クラスター設定用のEXCELアドインが正しくインストールされている場合には、プルダウンメニューの一番下に『i-Reporter種別選択』というメニューが表示されます。
  - この『i-Reporter種別選択』をクリックすると、EXCELアドイン画面が表示されます。



# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## ● EXCELアドイン画面レイアウト

- クラスターの種別選択画面において、クラスターの各種設定を行います。
- 設定後、設定ボタンをクリックします。キャンセルボタンで何もせずに画面を終了します。なお、設定が必須となる項目は下記の内「クラスター種別」のみとなります。

**「クラスター種別」のみ必須です！！他は入力必須ではありません。**

**● クラスター種別**

**● クラスター名称**

**● クラスター-index**

**● クラスター種別選択**

**● クラスター名称のヒント**

**● 外部連携設定**  
・外部連携する  
・iPad上で編集可能

**● 入力パラメーター**

**● クラスター備考1～10**

**● iPad, iPhone版の設定**  
「Windows版の設定」の切替（新規追加）

**● 言語切替**  
・Japanese  
・English

V4.1 機能強化

ConMas i-Report 種別選択 (Version 4.1.0)

クラスター種別選択

クラスター名称

クラスター種別

クラスター-index

外部連携する  
 iPad上で編集可能

クラスター備考1  
クラスター備考2  
クラスター備考3  
クラスター備考4  
クラスター備考5  
クラスター備考6  
クラスター備考7  
クラスター備考8  
クラスター備考9  
クラスター備考10

クラスター名称のヒント  左  右  上  下

入力パラメーター

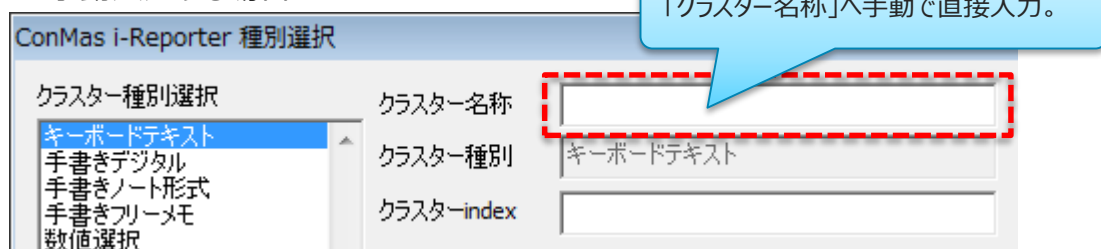
設定 キャンセル

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

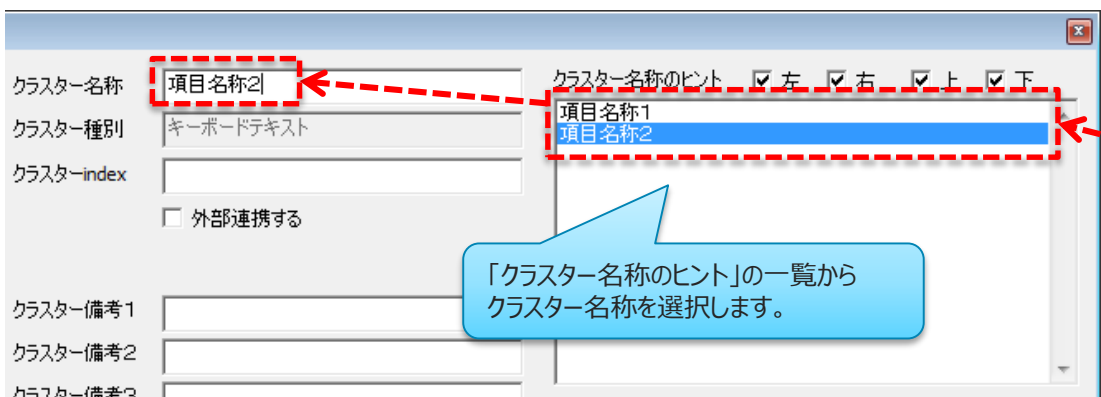
## ● EXCELアドイン画面 クラスター名称の設定

- クラスター名称を手動入力します。
- クラスター名称のヒント一覧から選択することでクラスター名称を指定することも可能です。
- クラスター名称は空白のままでも構いません。この場合、Designerへ取込を行った際に自動的にクラスター名称が生成されます。

### ● 手動入力する場合



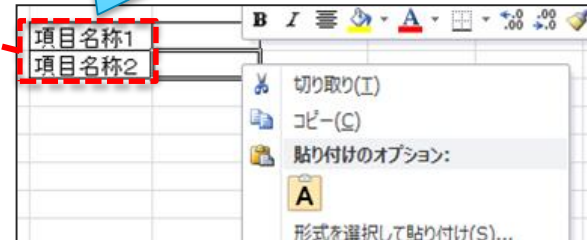
### ● クラスター名称のヒントから選択する場合



### ● クラスター名称のヒント

クラスター名称を簡単に設定するために、選択したセルの近くにある名称を取得してこのウィンドウに表示します。ヒントの中から項目を選択すると、項目名称の入力欄に自動でセットします。このとき項目名に空白が存在する場合は自動で削除します。既にコメントが挿入されているセルから表示した場合には、現在設定されている項目名称が選択されます。

キー操作で上下に移動します。



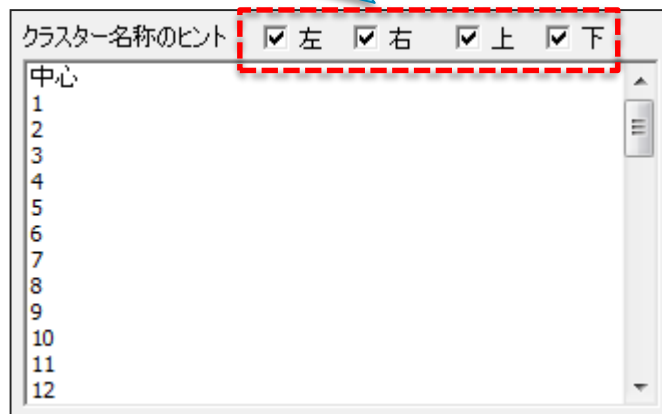
# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## EXCELアドイン画面 クラスター名称の設定

### (クラスター名称のヒントの検索)

- Add-in画面を起動した際に選択中のセルを中心として、中心セルから「左」「右」「上」「下」のどの方向へセル値を検索し、ヒント表示として検出するかをクラスター名称のヒント一覧上部のチェックボックスにて指定します。  
複数のチェックボックスを指定していた場合、「左」>「右」>「上」>「下」の優先順で中心セルの周囲のセル値を検索していきます。  
(※セルを結合または連続複数選択している場合は一番左上のセルが中心セルとなります。)

ヒントとなるセル値の検索方向を指定



- 「左」「右」「上」「下」すべてにチェックを入れた場合のセル検索順番  
(図中の数値がセル値の検索順番)

	30	42	40	39	41	43	37
	28	12	20	19	21	17	35
	26	10	2	7	5	15	33
	25	9	1	中心	4	14	32
	27	11	3	8	6	16	34
	29	13	23	22	24	18	36
	31	47	45	44	46	48	38

# 9. クラスタ設定用のEXCELアドイン

## EXCELアドイン画面 クラスタ名称の設定 (クラスタ名称のヒントの検索)

・「左」のみチェックを入れた場合のセル検索順番

クラスタ名称のヒント  左  右  上  下

	14					
	12	7				
	10	5	2			
	9	4	1	中心		
	11	6	3			
	13	8				
	15					

・「右」のみチェックを入れた場合のセル検索順番

クラスタ名称のヒント  左  右  上  下

						14
					7	12
			2	5	10	
		中心	1	4	9	
			3	6	11	
				8	13	
						15

・「上」のみチェックを入れた場合のセル検索順番

クラスタ名称のヒント  左  右  上  下

	14	12	10	9	11	13
		7	5	4	6	8
			2	1	3	
				中心		

・「下」のみチェックを入れた場合のセル検索順番

クラスタ名称のヒント  左  右  上  下

			2	1	3	
		7	5	4	6	8
	14	12	10	9	11	13



# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## EXCELアドイン画面 クラスター種別の設定

- アドイン画面左の「クラスター種別選択」よりクラスター種別を選択します。  
選択したクラスター種別が自動で画面右の「クラスター種別」項目に記述されます。

クラスター種別の種類

①「クラスター種別選択」から選択。

②選択したクラスター種別が自動で記述されます。

クラスター名称	
クラスター種別	手書きノート形式
クラスターindex	
クラスター備考1	
クラスター備考2	
クラスター備考3	
クラスター備考4	
クラスター備考5	
クラスター備考6	
クラスター備考7	
クラスター備考8	
クラスター備考9	
クラスター備考10	

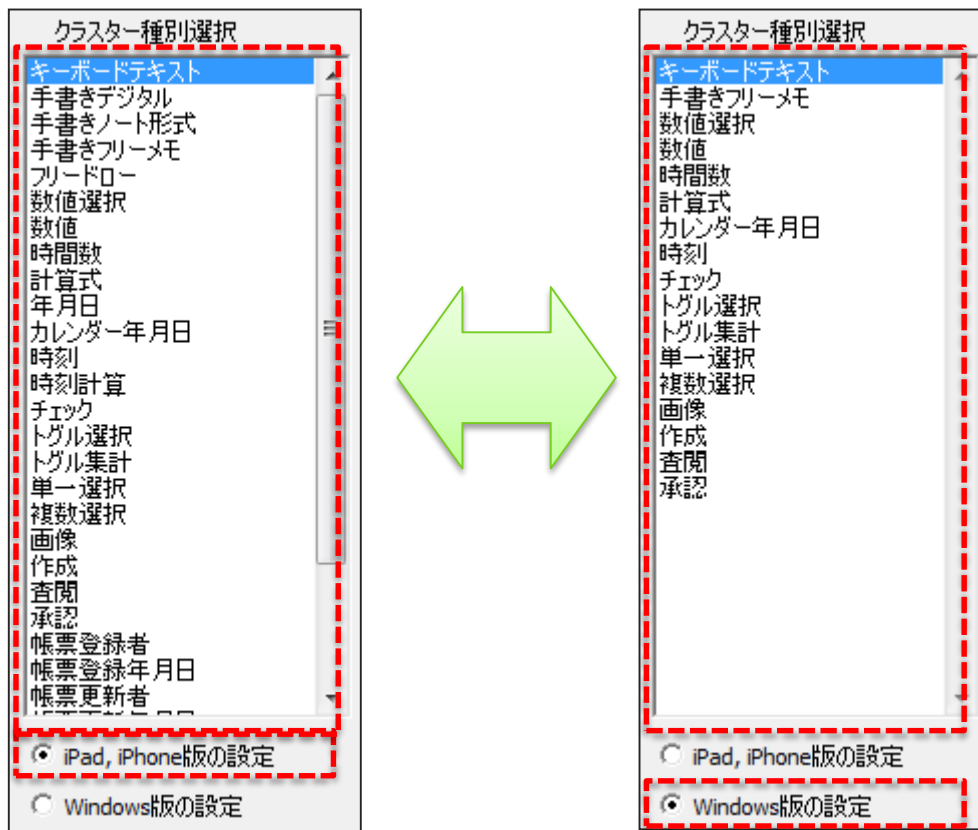
クラスター種別のキー	クラスター種別の日本語表記
KeyboardText	キーボードテキスト
Handwriting	手書きデジタル
FixedText	手書きノート形式
FreeText	手書きフリーメモ
Numeric	数値選択
InputNumeric	数値
NumberHours	時間数
Calculate	計算式
Date	年月日
CalendarDate	カレンダー年月日
Time	時刻
Check	チェック
MultipleChoiceNumber	トグル選択
MCNCalculate	トグル集計
Select	単一選択
MultiSelect	複数選択
Image	画像
Create	作成
Inspect	査閲
Approve	承認
Registration	帳票登録者
RegistrationDate	帳票登録年月日
LatestUpdate	帳票更新者
LatestUpdateDate	帳票更新年月日
QRCode	QRコード
CodeReader	コードリーダー
Gps	GPS位置情報

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

V4.1  
機能  
強化

## EXCELアドイン画面 クラスター種別選択リストの切替え

- 「iPad, iPhone版の設定」と「Windows版の設定」を選択する事で、クラスター種別選択のリスト表示が切り替わります。「Windows版の設定」を選択した場合、Windows版で使用可能なクラスター種別のみがリスト表示されます。「iPad, iPhone版の設定」の場合は、すべてのクラスター種別がリスト表示されます。



### (注意)

「フリードロー」と「手書きフリーメモ」の同一定義内での共存が可能となりました。そのため、「フリードローを使用」「手書きフリーメモを使用」の切替え機能は廃止となりました。

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## • EXCELアドイン画面 クラスターindexの設定

- クラスターindexとはクラスター情報のキーとなる0始まりで採番される数値です。
- クラスターindexとなる数値を手動入力することで設定します。
- クラスターindexは同一シート内で一意である必要があります。
- クラスターindexは空白のままにしておくと、Designerへ取込む際に自動採番されます。

ConMas i-Reporter 種別選択

クラスター種別選択

クラスター名称

クラスター種別 キーボードテキスト

クラスターindex 2

外部連携する

iPad上で編集可能

クラスター名称のヒント  左  右  上  下

項目名称1

項目名称2

クラスター備考1

クラスター備考2

クラスター備考3

キーボードテキスト

手書きデジタル

手書きノート形式

手書きフリーメモ

数値選択

数値

時間数

計算式

年月日

カレンダー年月日

時刻

チェック

トグル選択

トグル集計

### (注意)

基本的にはクラスターindexの設定は行わずに、明示的に特定のクラスターindexを設定したい場合のみクラスターindexを設定するようにして下さい。なお、帳票定義をDesignerへ取込んでサーバー保存した後は、システム情報の整合性を保持するためにクラスターindexの変更は行わないで下さい。

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## EXCELアドイン画面 外部連携の設定

- 「外部連携する」項目にチェックを入れることで外部連携を行う設定になります。
- 「外部連携する」にチェックを入れると「iPad上で編集可能」というチェック項目が表示されます。これは外部連携で入力された値をiPad上で編集可能とするかどうかの設定です。  
※「外部連携する」のチェックを外すと「iPad上で編集可能」の項目は非表示になります。

ConMas i-Reporter 種別選択

クラスター種別選択: キーボードテキスト

クラスター名称: 手書きフリーメモ

クラスター名称のヒント: 項目名称1, 項目名称2

外部連携する

外部連携する  iPad上で編集可能

外部連携可能なクラスター種別

クラスター種別のキー	クラスター種別の日本語表記
KeyboardText	キーボードテキスト
Handwriting	手書きデジタル
FreeText	手書きフリーメモ
Numeric	数値選択
InputNumeric	数値
NumberHours	時間数
Date	年月日
CalendarDate	カレンダー年月日
Time	時刻
Check	チェック
MultipleChoiceNumber	トグル選択
Select	単一選択
MultiSelect	複数選択
Image	画像
QRCode	QRコード
CodeReader	コードリーダー

外部連携可能なクラスター種別は上記表のとおりです。その他のクラスター種別の場合は、外部連携設定をしていても無視されます。

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## EXCELアドイン画面 入力パラメーターの設定

- 「入力パラメーター」項目はDesigner上で編集したクラスター情報が記述されます。
- 本項目は、Designerへ取り込んだ帳票定義を再びEXCELファイルに出力する際、Designerで編集したクラスター情報をEXCELファイル上に記憶しておくために使用されます。
- 最初の設定では、入力パラメーターは空白のままで構いません。この場合、Designerに取込んだ際には各クラスター情報のデフォルト設定が適応されます。
- アドイン画面上でも入力パラメーターの編集は可能ですが、データの整合性の観点から基本的にはDesigner上でクラスター情報の編集を行うことをお勧めします。

ConMas i-Reporter 種別選択 (Version 4.1.0)

クラスター種別選択

クラスター名称 単一選択

クラスター種別 単一選択

クラスターindex 46

外部連携する

クラスター備考1

クラスター備考2

クラスター備考3

クラスター備考4

クラスター備考5

クラスター備考6

クラスター備考7

クラスター備考8

クラスター備考9

クラスター備考10

クラスター名称のヒント  左  右  上  下

○10,△5,X0  
楕円  
円  
時刻(終了)  
単一選択トグル式  
ネットワークリョーリンク設定  
ネットワーク制限設定  
数値  
トグル選択  
複数選択(KB)  
複数選択(長文,KB)  
チェック  
時刻(開始)

入力パラメーター

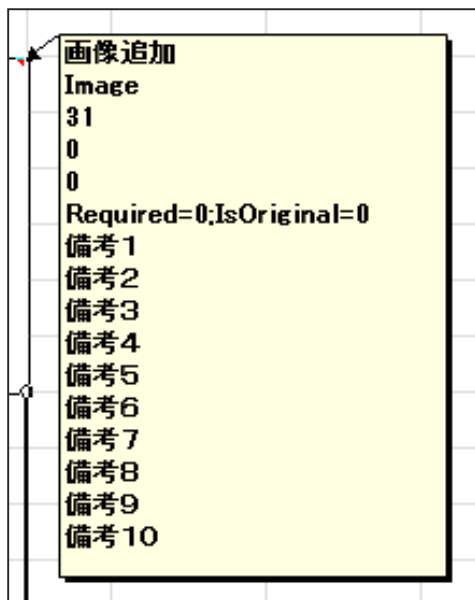
Required=0;Default=0;ToggleInput=1;Display=Labels;Item  
s=1,2,3,4,5;Labels=軽自動車,ハイブリッド車,小型乗用車,  
乗用車,ミニバ  
ン;Align=Center;Font=Arial;FontSize=30;Weight=Bold;Colo  
r=0,0,0;UseKeyboard=0

設定 キャンセル

Designerで編集したクラスター情報が記述されます。入力パラメーターの内容に不整合などが生じると、Designerへの取込みが正常に行われなくなります。アドイン画面上で入力パラメーターを編集する際は、入力パラメーターの記述仕様をご理解の上、行って下さい。

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

- セルへ挿入されるコメント情報は、行数番号により以下のように定義されます。



- 1行目 : クラスター名称
- 2行目 : クラスター種別
- 3行目 : クラスターindex (同一シート内で一意制約)
- 4行目 : 読み取り専用設定 (1:読み取り専用、0:編集可能)
- 5行目 : 外部連携設定 (1:外部連携する、0:しない)
- 6行目 : 入力パラメーター情報
- 7行目 : クラスター備考1
- 8行目 : クラスター備考2
- 9行目 : クラスター備考3
- 10行目 : クラスター備考4
- 11行目 : クラスター備考5
- 12行目 : クラスター備考6
- 13行目 : クラスター備考7
- 14行目 : クラスター備考8
- 15行目 : クラスター備考9
- 16行目 : クラスター備考10

※6行目の入力パラメーター情報は長くなる場合に折り返し表示されます。  
※Designer上で何も設定されなかった項目は空白行になります。

- 各セルのコメント編集を行うことで、手動にてEXCELファイル上のクラスター情報を編集することは可能ですが、クラスターindexや入力パラメーター情報に誤りが生じた場合、Designer取込み時にエラーとなります。

# 9. クラスター設定用のEXCELアドイン

## EXCELアドイン画面 クラスター備考（1～10）

- クラスター備考1～10をアドイン画面上で予め設定しておく事ができます。
- クラスター備考の情報はDesignerへ取込後に各クラスターの入力パラメーター画面にて参照・編集することができるようになっています。

EXCELアドイン画面

ConMas i-Reporter 種別選択

クラスター種別選択

キーボードテキスト	クラスター名称	所在地
手書きデジタル	クラスター種別	単一選択
手書きノート形式	クラスター-index	5
手書きフリーメモ		<input type="checkbox"/> 外部連携する
数値選択		
数値		
時間数		
計算式		
年月日		
カレンダー年月日		
時刻		
チェック		
トグル選択		
トグル集計		
単一選択		
複数選択		
画像		
作成		
査閲		
承認		
帳票登録者		
帳票登録年月日		
帳票更新者		
帳票更新年月日		
QRコード		
コードリーダー		
GPS位置情報		

クラスター備考1	備考1です。
クラスター備考2	備考2です。
クラスター備考3	備考3です。
クラスター備考4	備考4です。
クラスター備考5	備考5です。
クラスター備考6	備考6です。
クラスター備考7	備考7です。
クラスター備考8	備考8です。
クラスター備考9	備考9です。
クラスター備考10	備考10です。

Designerへ  
取込後

Designer画面上、該当クラスターの入力パラメーター画面

入力パラメータ設定 クラスター備考

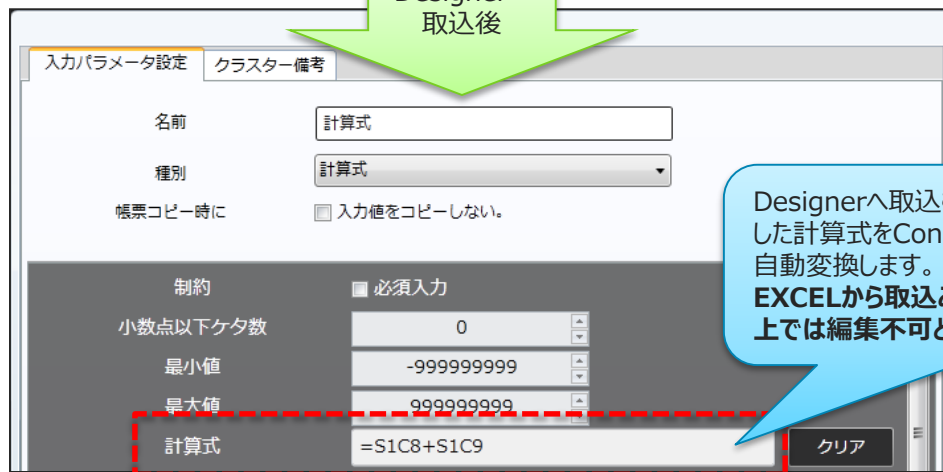
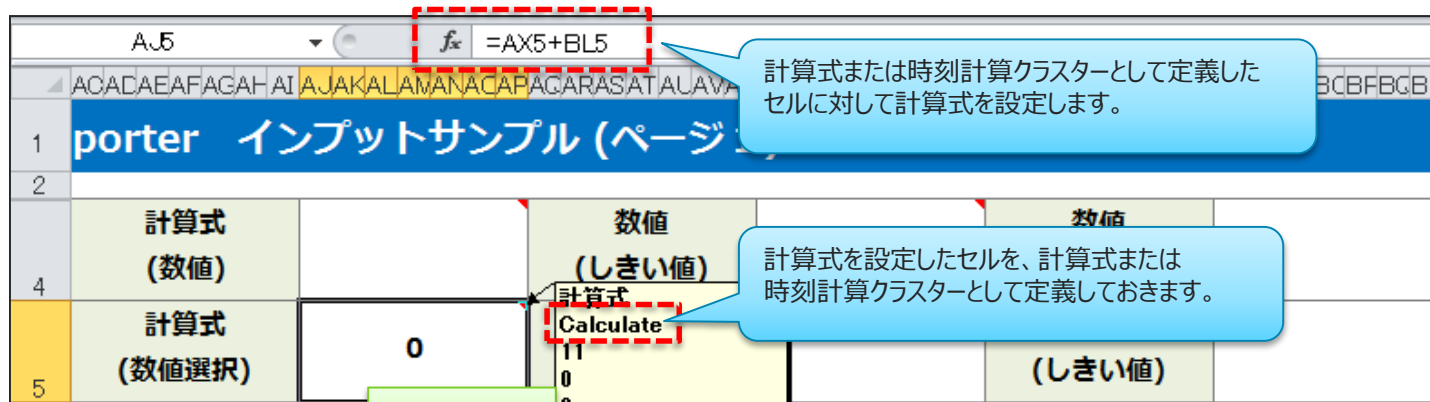
●クラスター備考情報

備考名称	備考情報
クラスター備考1	備考1です。
クラスター備考2	備考2です。
クラスター備考3	備考3です。
クラスター備考4	備考4です。
クラスター備考5	備考5です。
クラスター備考6	備考6です。
クラスター備考7	備考7です。
クラスター備考8	備考8です。
クラスター備考9	備考9です。
クラスター備考10	備考10です。

OK キャンセル

# 10. 計算式とEXCEL関数の取込み

EXCELファイル上に記述してある計算式、EXCEL関数の一部をDesignerへ取込み、ConMas用の計算式、関数に自動変換することができます。現在は合計38種類のEXCEL関数に対応しています。（EXCEL関数機能の強化マニュアルをご参照下さい）



※時刻計算クラスターの計算式に関しては、時刻クラスター同士の引き算である必要があります。



# 10. 計算式とEXCEL関数の取込み

## EXCEL関数のDesigner取込後

EXCEL関数は、EXCELファイルからDesignerへ取込んだ場合にのみ有効となります。Designer上で計算式へ手動入力にてEXCEL関数を指定してもエラーとなり設定不可となります。また、EXCEL取込み後はDesigner上でのEXCEL関数の編集は不可となります。

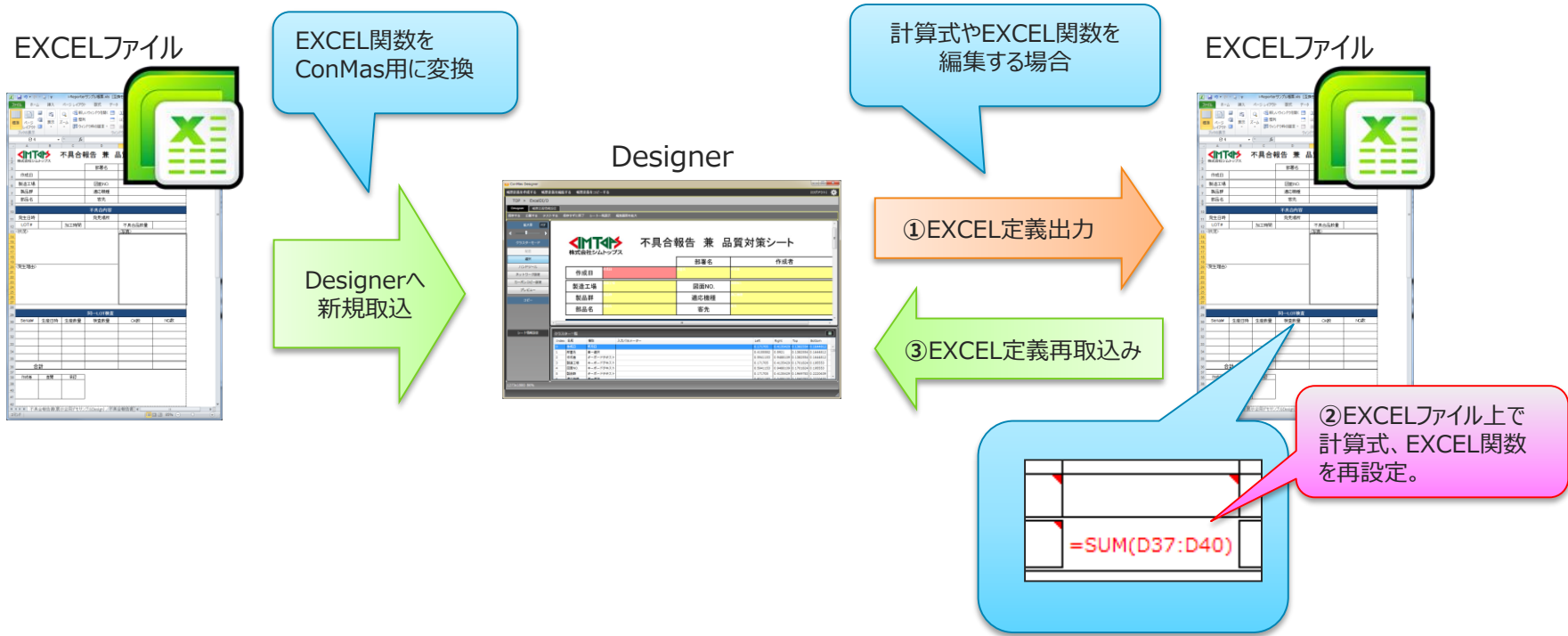
制約	<input type="checkbox"/> 必須入力
計算結果データ型	その他
データ型と計算結果が不一致の場合	エラー表示する
小数点以下ケタ数	0
最小値	-999999999
最大値	999999999
計算式	<code>=SUM(S1C4,S1C5)</code>
検証方法	シグナル表示
クラスター表示	<input type="checkbox"/> この計算式クラスターをタブレット上に表示しない

EXCEL関数の場合は  
計算式の編集が不可。

# 10. 計算式とEXCEL関数の取込み

## ● 計算式、EXCEL関数の再取込み

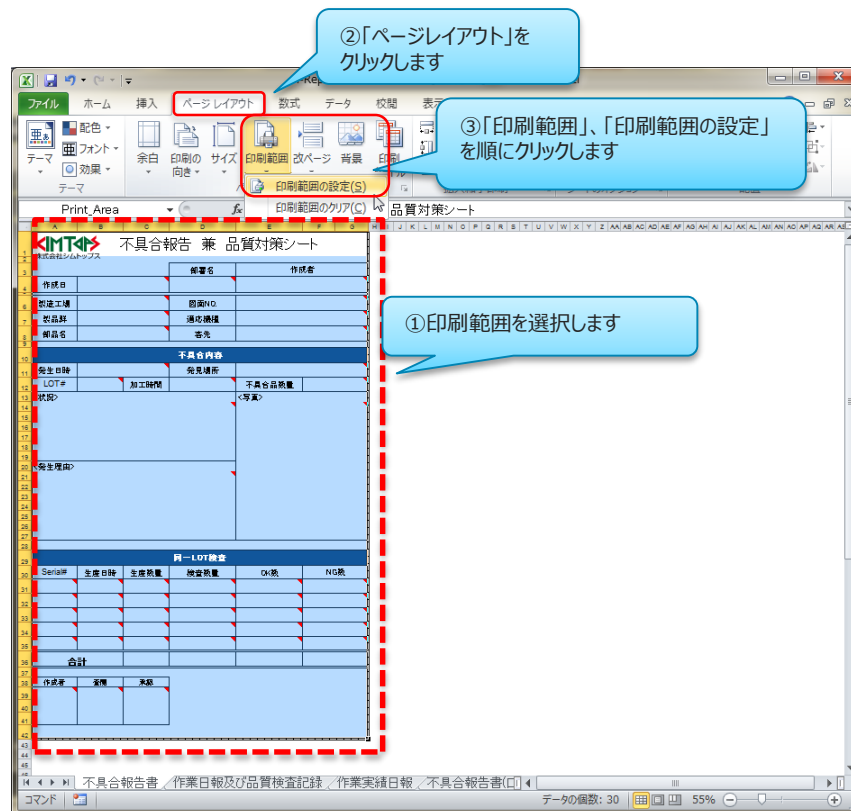
項目の追加などにより、計算式やEXCEL関数の再編集が必要となった場合、EXCEL定義出力にて一旦EXCELファイルを出力し、EXCELファイルのセル上へ修正後の計算式、EXCEL関数を再設定してから、再度Designerへ取込んで頂くことで計算式、EXCEL関数がConMas用に再調整されます。



※V4.2以前のバージョンをご使用されている場合は、制限仕様が異なっておりますのでP43以降をご参照下さい。

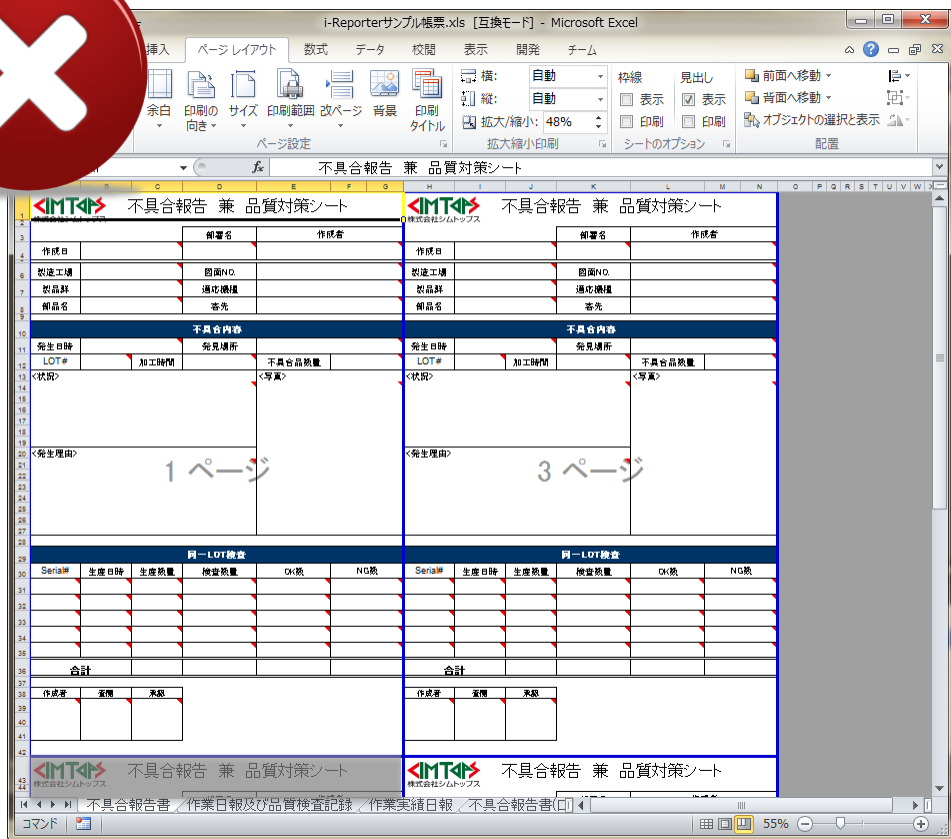
# 1 1. シートの印刷範囲の設定

- シートにレイアウトを作成しセルへの設定が終了したら、印刷範囲の設定を行います。
- 各シートの印刷範囲で、帳票定義のシートが作成されます。
  - EXCEL2010の場合
    - 帳票定義のシートの対象としたい印刷範囲を選択し、上部のメニューより「ページレイアウト」>「印刷範囲」をクリック後、「印刷範囲の設定」をクリックして設定します。



# 1 1. シートの印刷範囲の設定

- 印刷範囲の設定は、必ず1ページのみになるように設定します。
- シート内に2ページ目以降が設定されていた場合、Designer取り込み時にエラーとなり取り込むことができません。



Designer取り込み時のエラーメッセージ

# 1 1. シートの印刷範囲の設定

## • 対応用紙サイズ

※ユーザー定義の用紙サイズは未対応です。

※表記のない用紙サイズは未対応です。

用紙サイズ(英語表記) ※ご利用端末のプリンタドライバによっては 使用出来ないサイズもあります。	インチ	cm	対応 可否
Letter paper (8.5 in. by 11 in.)	8.5×11	21.5×27.9	○
Letter small paper (8.5 in. by 11 in.)	8.5×11	21.5×27.9	○
Tabloid paper (11 in. by 17 in.)	11×17	27.9×43.1	○
Ledger paper (17 in. by 11 in.)	17×11	43.1×27.9	○
Legal paper (8.5 in. by 14 in.)	8.5×14	21.5×35.5	○
Statement paper (5.5 in. by 8.5 in.)	5.5×8.5	13.9×21.5	○
Executive paper (7.25 in. by 10.5 in.)	7.25×10.5	18.4×26.6	○
A3 paper (297 mm by 420 mm)	11.6×16.5	297×420	○
A4 paper (210 mm by 297 mm)	8.2×11.6	210×297	○
A4 small paper (210 mm by 297 mm)	8.2×11.6	210×297	○
A5 paper (148 mm by 210 mm)	5.8×8.2	148×210	○
B4 paper (250 mm by 353 mm)	9.8×13.8	250×353	○
B5 paper (176 mm by 250 mm)	6.9×9.8	176×250	○
Folio paper (8.5 in. by 13 in.)	8.5×13	21.5×33	○
Quarto paper (215 mm by 275 mm)	8.4×10.8	215×275	○
Standard paper (10 in. by 14 in.)	10×14	25.4×35.5	○
Standard paper (11 in. by 17 in.)	11×17	27.9×43.1	○
Note paper (8.5 in. by 11 in.)	8.5×11	21.5×27.9	○
#9 envelope (3.875 in. by 8.875 in.)	3.875×8.875	9.8×22.5	○
#10 envelope (4.125 in. by 9.5 in.)	4.125×9.5	10.4×24.1	○

# 1 1. シートの印刷範囲の設定

## • 対応用紙サイズ

※ユーザー定義の用紙サイズは未対応です。

※表記のない用紙サイズは未対応です。

用紙サイズ(英語表記) ※ご利用端末のプリンタドライバによっては 使用出来ないサイズもあります。	インチ	cm	対応 可否
#11 envelope (4.5 in. by 10.375 in.)	4.5×10.375	11.4×26.3	○
#12 envelope (4.75 in. by 11 in.)	4.75×11	12×27.9	○
#14 envelope (5 in. by 11.5 in.)	5×11.5	12.7×29.2	○
C paper (17 in. by 22 in.)	17×22	43.1×55.8	○
D paper (22 in. by 34 in.)	22×34	55.8×86.3	○
E paper (34 in. by 44 in.)	34×44	86.3×111.7	○
DL envelope (110 mm by 220 mm)	4.3×8.6	110×220	○
C5 envelope (162 mm by 229 mm)	6.3×9	162×229	○
C3 envelope (324 mm by 458 mm)	12.7×18	324×458	○
C4 envelope (229 mm by 324 mm)	9×12.7	229×324	○
C6 envelope (114 mm by 162 mm)	4.4×6.3	114×162	○
C65 envelope (114 mm by 229 mm)	4.4×9	114×229	○
B4 envelope (250 mm by 353 mm)	9.8×13.8	250×353	○
B5 envelope (176 mm by 250 mm)	6.9×9.8	176×250	○
B6 envelope (176 mm by 125 mm)	6.9×9.8	176×250	○
Italy envelope (110 mm by 230 mm)	4.3×9	110×230	○
Monarch envelope (3.875 in. by 7.5 in.)	3.875×7.5	9.8×19	○
6 3/4 envelope (3.625 in. by 6.5 in.)	3.625×6.5	9.2×16.5	○
US standard fanfold (14.875 in. by 11 in.)	14.875×11	37.7×27.9	○
German standard fanfold (8.5 in. by 12 in.)	8.5×12	21.5×30.4	○

# 1 1. シートの印刷範囲の設定

## • 対応用紙サイズ

※ユーザー定義の用紙サイズは未対応です。

※表記のない用紙サイズは未対応です。

用紙サイズ(英語表記) ※ご利用端末のプリンタドライバによっては 使用出来ないサイズもあります。	インチ	cm	対応 可否
German legal fanfold (8.5 in. by 13 in.)	8.5×13	21.5×33	○
ISO B4 (250 mm by 353 mm)	9.8×13.8	250×353	○
Japanese double postcard (200 mm by 148 mm)	7.8×5.8	200×148	○
Standard paper (9 in. by 11 in.)	9×11	22.8×27.9	○
Standard paper (10 in. by 11 in.)	10×11	25.4×27.9	○
Standard paper (15 in. by 11 in.)	15×11	38.1×27.9	○
Invite envelope (220 mm by 220 mm)	8.6×8.6	220×220	○
Letter extra paper (9.275 in. by 12 in.)	9.275×12	23.5×30.4	○
Legal extra paper (9.275 in. by 15 in.)	9.275×15	23.5×38.1	○
Tabloid extra paper (11.69 in. by 18 in.)	11.69×18	29.6×45.7	○
A4 extra paper (236 mm by 322 mm)	9.2×12.6	236×322	○
Letter transverse paper (8.275 in. by 11 in.)	8.275×11	21×27.9	○
A4 transverse paper (210 mm by 297 mm)	8.2×11.6	210×297	○
Letter extra transverse paper (9.275 in. by 12 in.)	9.275×12	23.5×30.4	○
SuperA/SuperA/A4 paper (227 mm by 356 mm)	8.9×14	227×356	○
SuperB/SuperB/A3 paper (305 mm by 487 mm)	12×19.1	305×487	○
Letter plus paper (8.5 in. by 12.69 in.)	8.5×12.69	21.5×32.2	○
A4 plus paper (210 mm by 330 mm)	8.2×12.9	210×330	○
A5 transverse paper (148 mm by 210 mm)	5.8×8.2	148×210	○
JIS B5 transverse paper (182 mm by 257 mm)	7.1×10.1	182×257	○

# 1 1. シートの印刷範囲の設定

## • 対応用紙サイズ

※ユーザー定義の用紙サイズは未対応です。

※表記のない用紙サイズは未対応です。

用紙サイズ(英語表記) ※ご利用端末のプリンタドライバによっては 使用出来ないサイズもあります。	インチ	cm	対応 可否
A3 extra paper (322 mm by 445 mm)	12.6×17.5	322×445	○
A5 extra paper (174 mm by 235 mm)	6.8×9.2	174×235	○
ISO B5 extra paper (201 mm by 276 mm)	7.9×10.8	201×276	○
A2 paper (420 mm by 594 mm)	16.5×23.3	420×594	○
A3 transverse paper (297 mm by 420 mm)	11.6×16.5	297×420	○
A3 extra transverse paper (322 mm by 445 mm)	12.6×17.5	322×445	○
Japanese Double Postcard (200 mm x 148 mm)	7.8×5.8	200×148	○
A6 (105 mm x 148 mm)	4.1×5.8	105×148	○
Japanese Envelope Kaku #2	—	—	×
Japanese Envelope Kaku #3	—	—	×
Japanese Envelope Chou #3	—	—	×
Japanese Envelope Chou #4	—	—	×
Letter Rotated (11in x 8 1/2 11 in)	11×8.5	27.9×21.5	○
A3 Rotated (420 mm x 297 mm)	16.5×11.6	420×297	○
A4 Rotated (297 mm x 210 mm)	11.6×8.2	297×210	○
A5 Rotated (210 mm x 148 mm)	8.2×5.8	210×148	○
B4 (JIS) Rotated (364 mm x 257 mm)	14.3×10.1	364×257	○
B5 (JIS) Rotated (257 mm x 182 mm)	10.1×7.1	257×182	○
Japanese Postcard Rotated (148 mm x 100 mm)	5.8×3.9	148×100	○
Double Japanese Postcard Rotated (148 mm x 200 mm)	5.8×7.8	148×200	○



# 1 1. シートの印刷範囲の設定

## • 対応用紙サイズ

※ユーザー定義の用紙サイズは未対応です。

※表記のない用紙サイズは未対応です。

用紙サイズ(英語表記) ※ご利用端末のプリンタドライバによっては 使用出来ないサイズもあります。	インチ	cm	対応 可否
A6 Rotated (148 mm x 105 mm)	5.8×7.8	148×200	○
Japanese Envelope Kaku #2 Rotated	—	—	×
Japanese Envelope Kaku #3 Rotated	—	—	×
Japanese Envelope Chou #3 Rotated	—	—	×
Japanese Envelope Chou #4 Rotated	—	—	×
B6 (JIS) (128 mm x 182 mm)	5×7.1	128×182	○
B6 (JIS) Rotated (182 mm x 128 mm)	7.1×5	182×128	○
(12 in x 11 in)	12×11	30.4×27.9	○
Japanese Envelope You #4	—	—	×
Japanese Envelope You #4 Rotated	—	—	×
PRC 16K (146 mm x 215 mm)	5.7×8.4	146×215	×
PRC 32K (97 mm x 151 mm)	3.8×5.9	97×151	×
PRC 32K(Big) (97 mm x 151 mm)	3.8×5.9	97×151	×
PRC Envelope #1 (102 mm x 165 mm)	4×6.4	102×165	×
PRC Envelope #2 (102 mm x 176 mm)	4×6.9	102×176	×
PRC Envelope #3 (125 mm x 176 mm)	4.9×6.9	125×176	×
PRC Envelope #4 (110 mm x 208 mm)	4.3×8.1	110×208	×
PRC Envelope #5 (110 mm x 220 mm)	4.3×8.6	110×220	×
PRC Envelope #6 (120 mm x 230 mm)	4.7×9	120×230	×
PRC Envelope #7 (160 mm x 230 mm)	6.2×9	160×230	×

# 1 1. シートの印刷範囲の設定

## • 対応用紙サイズ

※ユーザー定義の用紙サイズは未対応です。

※表記のない用紙サイズは未対応です。

用紙サイズ(英語表記) ※ご利用端末のプリンタドライバによっては 使用出来ないサイズもあります。	インチ	cm	対応 可否
PRC Envelope #8 (120 mm x 309 mm)	4.7×12.1	120×309	×
PRC Envelope #9 (229 mm x 324 mm)	9×12.7	229×324	×
PRC Envelope #10 (324 mm x 458 mm)	12.7×18	324×458	×
PRC 16K Rotated	—	—	×
PRC 32K Rotated	—	—	×
PRC 32K(Big) Rotated	—	—	×
PRC Envelope #1 Rotated (165 mm x 102 mm)	6.4×4	165×102	×
PRC Envelope #2 Rotated (176 mm x 102 mm)	6.9×4	176×102	×
PRC Envelope #3 Rotated (176 mm x 125 mm)	6.9×4.9	176×125	×
PRC Envelope #4 Rotated (208 mm x 110 mm)	8.1×4.3	208×110	×
PRC Envelope #5 Rotated (220 mm x 110 mm)	8.6×4.3	220×110	×
PRC Envelope #6 Rotated (230 mm x 120 mm)	9×4.7	230×120	×
PRC Envelope #7 Rotated (230 mm x 160 mm)	9×6.2	230×160	×
PRC Envelope #8 Rotated (309 mm x 120 mm)	12.1×4.7	309×120	×
PRC Envelope #9 Rotated (324 mm x 229 mm)	12.7×9	324×229	×
PRC Envelope #10 Rotated (458 mm x 324 mm)	18×12.7	458×324	×
A1 paper (594 mm by 841 mm)	23.3×33.1	594×841	×

# 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み

- 帳票定義情報設定画面より、「EXCELファイルから作成する」ボタンをクリックし表示されるファイル選択画面から取込対象のExcelファイルを選択します。
- 「開く」ボタンをクリックすると、取込を開始します。

まずEXCELファイルの解析処理が実行されます。  
EXCELファイルの解析処理が終了してプログレスバーが閉じた後に  
Designerへの展開処理が実行されます。  
この処理にはしばらく時間がかかります。

ファイルを選択後、  
「開く」ボタンをクリックします

※取込み処理が完了するまで、Excelアプリケーションの新たな起動はしないで下さい。  
正しく処理されない場合があります。

# 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み

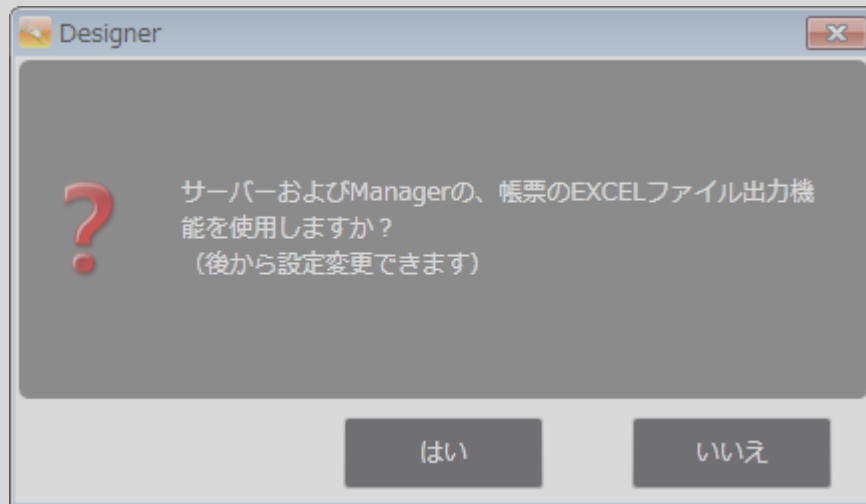
## • EXCEL取込み時の確認メッセージ

EXCEL取込み時に以下の3つの確認メッセージが表示されます。

v5.0より、メッセージ表示は不要となり廃止しました。

### (1) 帳票のEXCELファイル出力機能を使用しますか？

EXCELファイルから帳票定義を作成した場合のみ、その帳票定義から作成した帳票はEXCELファイルとして出力することができます。この機能を使用するかどうかという確認メッセージが表示されます。なお、この設定はDesigner編集画面の「帳票定義情報設定」タブ画面から後で変更する事も可能です。



「帳票定義情報設定」タブ画面にあるEXCELファイル出力機能の使用設定

#### ■ 帳票のEXCELファイル出力機能の使用

しない

する

# 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み

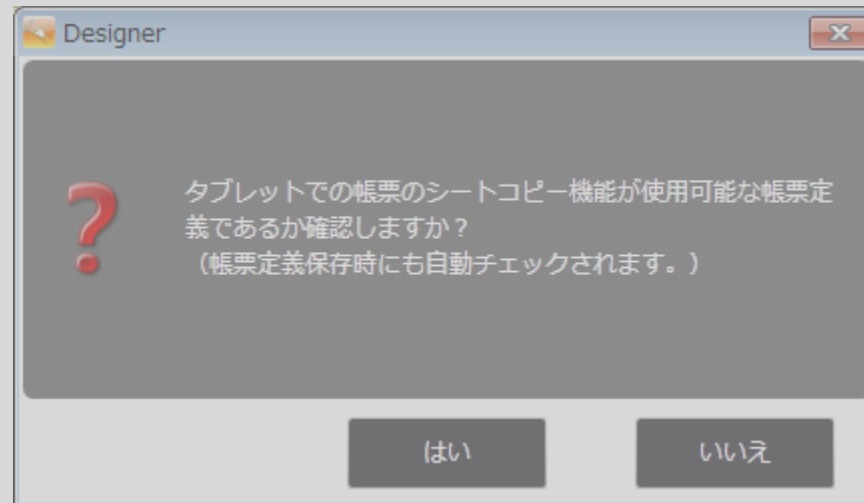
v5.0より、メッセージ表示は不要となり廃止しました。

## (2) 帳票のシートコピー機能が使用可能な帳票定義であるか確認しますか？

タブレット上で帳票のシートコピー機能を使用可能な帳票定義かどうかをチェックします。こちらは帳票定義を保存する際に自動で同様のチェックが行われますが、EXCEL取込みを行う最初のこの段階で予め確認しておく事ができます。

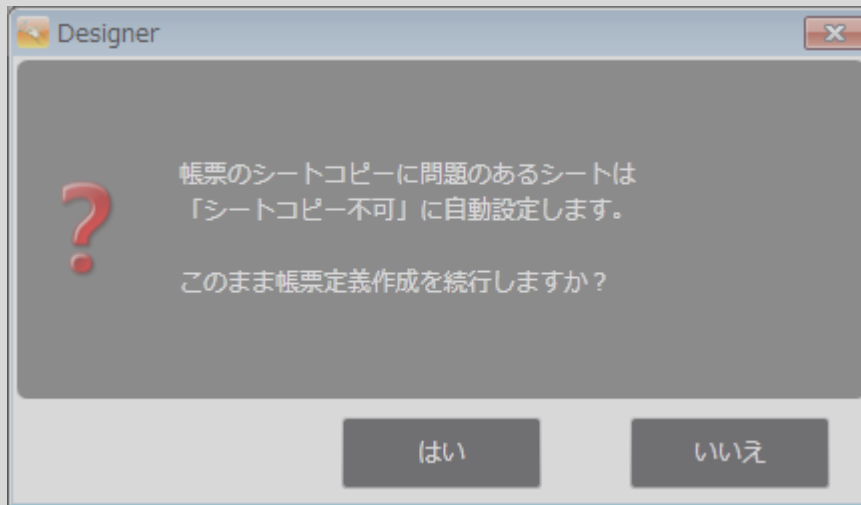
EXCELにおいて印刷範囲外にコメントが挿入されたセルがある場合などに、タブレット上で帳票のシートコピーを行った場合、ManagerでEXCEL出力ができなくなります。これらを防ぐための処置です。

※ (1) で帳票のEXCELファイル出力機能を使用する とした場合のみ  
このメッセージは表示されます。



# 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み

※帳票のシートコピー機能が使用不可である帳票定義だった場合  
タブレット上で帳票のシートコピー機能を使用不可の帳票定義だった場合、  
EXCEL取込み後に下記の確認メッセージが表示されます。  
「いいえ」を選択した場合は編集画面を終了します。



「シート情報設定」画面にある  
「本シートのシートコピー可否設定」

●本シートのシートコピー可否

シートコピー可

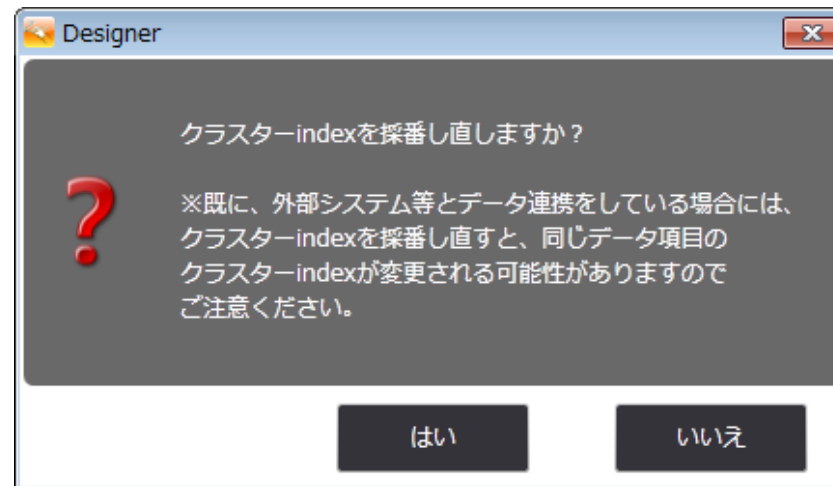
シートコピー不可

# 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み

## (3) クラスターindexを採番し直しますか？

一度EXCEL定義出力を行ったEXCELファイルを再度取込む際に表示される確認メッセージです（新規取込み時には表示されません）。各クラスターのインデックス番号を最初から採番し直す機能です。最初から採番し直す場合に、もうすでにその帳票が外部システムなどとデータ連携している場合には、同じクラスターのindexが変わってしまう場合が発生しますので注意が必要です。

※クラスターindexの再採番をしない場合でも重複チェックは行われます。



# 1 2. DesignerへのExcelファイル取込み

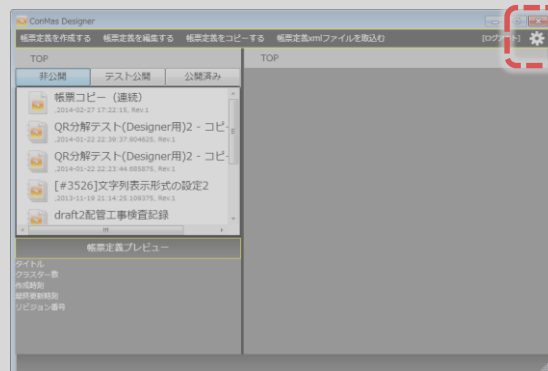
以上 (1) ~ (3) の確認メッセージの内、(1) と (2) の確認メッセージに関しては、Designerの設定により、確認メッセージを表示せずチェック処理を自動実行する事が可能です。(デフォルトは確認メッセージを表示しない設定になります)

v5.0より、本設定は不要となり廃止しました。

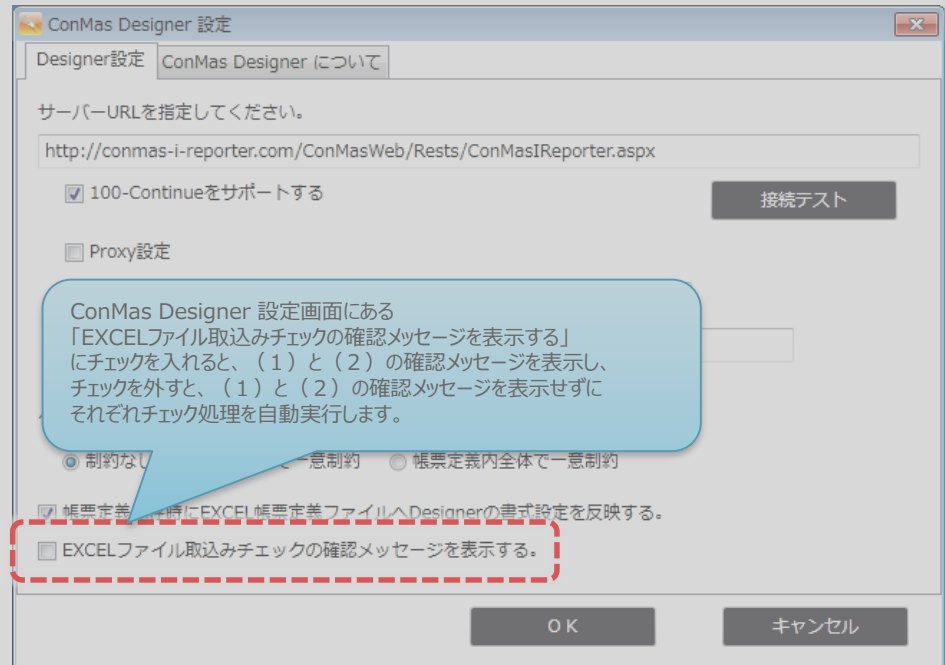
ConMas Designer ログイン画面  
右上の歯車マークをクリック



または、ConMas Designer メイン画面  
右上の歯車マークをクリック



ConMas Designer 設定画面





# 1 3. Excelファイル取込み後の設定

- 取込完了後、Excelファイルの各シートのレイアウトイメージ、及びクラスター設定が反映された帳票定義が表示されます。
  - 各クラスターには、Default値が自動で設定されます。必要な場合に修正します。
  - クラスター名称、クラスター種別を変更することも可能です。
  - 数値選択、トグル選択、トグル集計、単一選択、複数選択などの選択系のクラスターには、それらの選択候補の設定が必要です。

入力パラメータ設定

名前	種別
作成者	キーボードテキスト

EXCELから作成した帳票定義のためクラスター種別を変更することはできません。

制約

必須入力

入力制限 None

禁止文字

最大文字数 0

文字理め Left

理め文字

行数 1

配置指定 Left

書体指定 Arial

文字サイズ 20

太さ Normal

文字色 Black

外部システム連携

連携可否  連携する

OK キャンセル

# 1 4 . 取込後のDesigner操作制限について

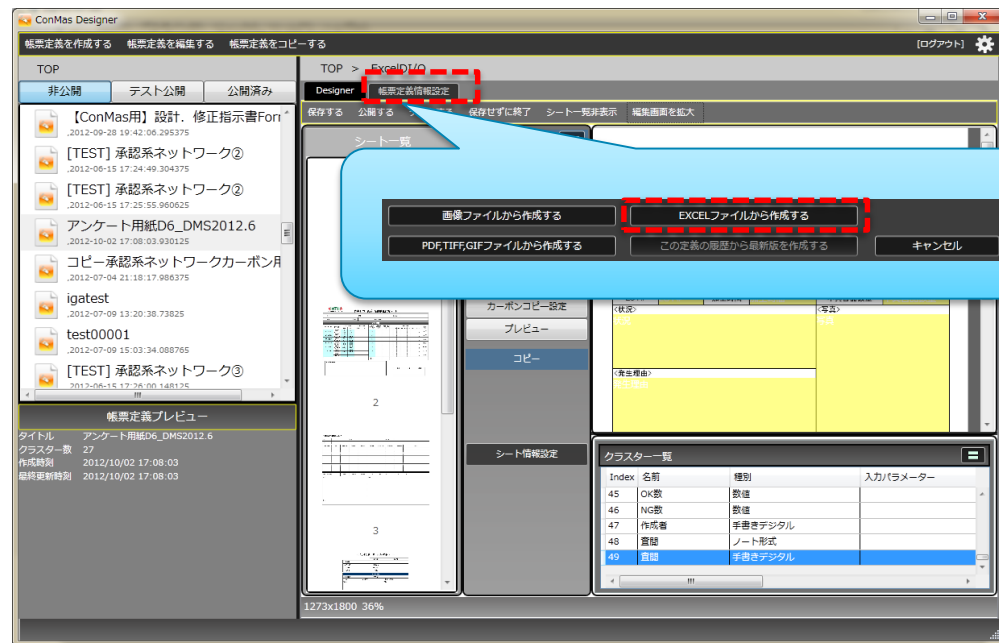
- Excelファイルの取込により作成された帳票定義については、元のExcelファイルとの整合性を保つため(Excel帳票ファイルの出力のため)に以下の編集を行うことができません。これらの情報を修正する場合は、Excelファイルを修正後、「帳票定義情報設定」画面から再度、「EXCELファイルから作成する」を実行し、帳票定義の再作成を行う必要があります。

## ■ Designerで制限される機能

- ・シートの挿入と削除はできません。
- ・帳票定義の背景画像を変更することはできません。
- ・EXCEL取込後に追加または削除したクラスターはExcel Direct Outputの際にEXCELファイル上に出力されません。

## ■ Designer使用可能な機能

- ・クラスターの大きさを変更することができます。
- ・同じシート内でのクラスターの位置を移動することができます。
- ・クラスターの種別を変更することができます。
- ・クラスターの設定コピーと設定ペーストができます。
- ・ネットワークを設定することができます。
- ・ネットワーク制限を設定することができます。
- ・バリューリンクを設定することができます。
- ・カーボンコピーを設定することができます。
- ・帳票定義名称を変更することができます。



# V4.2以前のバージョンにおける EXCEL計算式取込み仕様制限

---

V4.2以前のバージョンにて、EXCELファイルから計算式を取り込む際はこちらをご参照下さい。

# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

EXCELファイル上に記述してある計算式、EXCEL関数の一部をDesignerへ取込み、ConMas用の計算式、関数に自動変換することができます。現在対応しているのは、四則演算、SUM、MAX、MIN、AVERAGE、STDEVP、ROUND、IF関数です。  
(また、現在はEXCEL関数内への括弧の入れ子の指定は不可となります。)

計算式または時刻計算クラスターとして定義したセルに対して四則演算式を設定します。

四則演算式を設定したセルを、計算式または時刻計算クラスターとして定義しておきます。

	計算式 (数値)	数値 (しきい値)	数値
4		計算式	
5	0	Calculate	(しきい値)

Designerへ取込後

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前: 計算式

種別: 計算式

帳票コピー時に  入力値をコピーしない。

制約  必須入力

小数点以下ケタ数: 0

最小値: -999999999

最大値: 999999999

計算式: =S1C8+S1C9

クリア

Designerへ取込む際に、EXCEL上で設定した計算式をConMas用のクラスター情報に自動変換します。

# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## • 四則演算の取込み

- クラスタ種別「計算式」「時刻計算」に設定したセルに対して四則演算式を記述しておくことでDesignerに取込んだ際に、この計算式をConMas用に自動変換します。また、四則演算式で指定したセルのクラスタ種別が計算式の対象外だった場合は、該当のクラスタにあたる個所を「#REF」という表示に変換します。

The screenshot shows a spreadsheet with a formula bar at the top containing  $= (AX4 + BL4) * 2$ . Below the formula bar, a table is displayed with columns for '計算式' (Formula) and '数値(閾値)' (Numerical Value/Threshold). The table has 5 rows. The first row is a header with 'porter' and 'サンプル (ペー...' in the '計算式' column. The second row is empty. The third row has '計算式' in the first column and '数値(閾値)' in the second. The fourth row has '計算式' in the first column, '0' in the second, and '数値選択(閾値)' in the third. The fifth row has '計算式' in the first column and '時間数(閾値)' in the second. A context menu is open over the '0' cell, showing options: '計算式', 'Calculate', '8', '0', '0', and '時間数(閾値)'. The 'Calculate' option is highlighted with a red dashed box. A blue callout box points to the formula bar with the text: '計算式または時刻計算クラスターとして定義したセルに対して四則演算式を設定します。' Another blue callout box points to the 'Calculate' option with the text: '四則演算式を設定したセルを、計算式または時刻計算クラスターとして定義しておきます。'

※「時刻計算」を設定した場合は、時刻クラスター同士の引き算である必要があります。

# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## • SUM関数の取込み

- クラスター種別「計算式」に設定したセルに対してSUM関数を埋め込んでおくことでDesignerに取込んだ際にSUM関数を計算式クラスター用の和の計算式に変換して自動設定します。

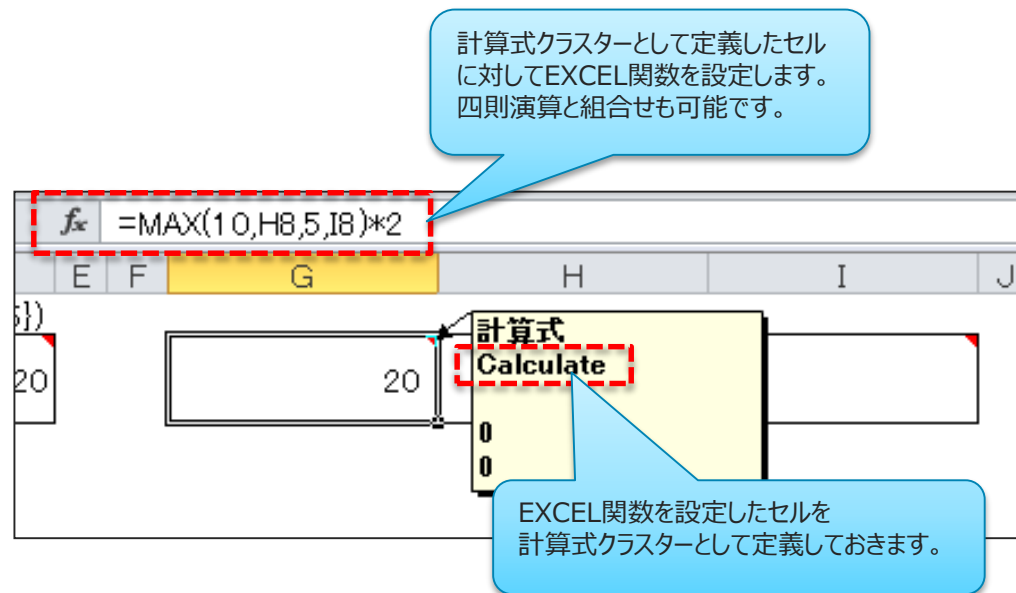
また、SUM関数で指定したセルのクラスター種別が計算式の対象外だった場合、そのセルから作成されたクラスターは自動設定される和の計算式から除外されます。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a formula bar containing the formula: `=SUM(R[2]C[2]:R[7]C[2],Sheet2!R[1]C[2]:R[6]C[2],Sheet3!R[1]C[2]:R[6]C[2])`. The formula bar is highlighted with a red dashed box. Below the formula bar, a yellow cluster is visible, containing a 'Calculate' button. A callout box points to the 'Calculate' button, stating: "SUM関数を設定したセルを計算式クラスターとして定義しておきます。" Another callout box points to the formula bar, stating: "計算式クラスターとして定義したセルに対してSUM関数を設定します。"

# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## • MAX、MIN、AVERAGE、STDEVP、ROUND関数の取込み

- クラスター種別「計算式」に設定したセルに対して各EXCEL関数を埋め込んでおくことでDesignerに取込んだ際にConMas用の関数に変換して自動設定します。これらのEXCEL関数は四則演算と組み合わせることも可能です。



# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## IF関数の取込み

- クラスター種別「計算式」に設定したセルに対してIF関数を埋め込んでおくことでDesignerに取込んだ際にConMas用のIF関数に変換して自動設定します。

IF関数が指定されている計算式クラスターであっても他の計算式クラスターの計算式に含めることが可能です。

V3.1機能強化版での機能強化

The screenshot shows a spreadsheet interface. The formula bar at the top displays the formula: `=IF(I14=J14,"○","×")`. Below the formula bar, a table is visible with columns labeled F, G, H, I, J, K and rows numbered 13 to 20. Column H is highlighted in yellow and contains a cluster of cells. The first cell in the cluster (row 14) contains an equals sign (=) and a circle (○). The second cell (row 15) contains an exclamation mark (!) and an equals sign (=) followed by an X (×). The third cell (row 16) contains a greater-than sign (>) and an X (×). The fourth cell (row 17) contains a less-than sign (<) and an X (×). The fifth cell (row 18) contains a greater-than-or-equal sign (>=) and a circle (○). The sixth cell (row 19) contains a less-than-or-equal sign (<=) and a circle (○). A yellow box labeled '計算式' (Calculation) is overlaid on the cluster, with a 'Calculate' button. A red dashed box highlights the formula bar. A blue callout bubble points to the formula bar with the text: '計算式クラスターとして定義したセルに対してIF関数を設定します。' (Set the IF function for the cell defined as a calculation cluster). Another blue callout bubble points to the 'Calculate' button with the text: 'IF関数を設定したセルを計算式クラスターとして定義しておきます。' (Define the cell with the IF function as a calculation cluster).



# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## • IF関数の組合せ表現

- IF文内に更にIF文が入る様なIF関数を使用したい場合、2つ以上の計算式クラスターIF文を分解してから、組み合わせて対応します。

(例) =IF(S1C0>10,"OK",IF(S1C1=0,"OK",IF(S1C2<0,"NG"," ")))



1つ目の計算式クラスターS1C3 : = IF(S1C0>10,"OK",S1C4)

2つ目の計算式クラスターS1C4 : = IF(S1C1=0,"OK", S1C5)

3つ目の計算式クラスターS1C5 : = IF(S1C2<0,"NG"," ")

- 分解したIF文を記述した計算式クラスターは、タブレット上で計算式を非表示にする設定を行うことで、タブレット上では見えないクラスターにすることが可能です。

**V3.1機能強化版での機能強化**

# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## • EXCEL関数のDesigner取込後

EXCEL関数（MAX、MIN、AVERAGE、STDEVP、ROUND、IF）は、EXCELファイルからDesignerへ取込んだ場合にのみ有効となります。

Designer上で計算式へ手動入力にてEXCEL関数を指定してもエラーとなり設定不可となります。また、EXCEL取込み後はDesigner上でのEXCEL関数の編集は不可となります。

制約	<input type="checkbox"/> 必須入力
小数点以下ケタ数	0
最小値	-999999999
最大値	999999999
計算式	=max({10,5,20,15})
検証方法	シグナル表示
空欄の計算	<input checked="" type="checkbox"/> 空欄をゼロとして計算する

# (V4.2) 計算式とEXCEL関数の取込み

## • 計算式、EXCEL関数の再取込み

項目の追加などにより、計算式やEXCEL関数の再編集が必要となった場合、EXCEL定義出力にて一旦EXCELファイルを出力し、EXCELファイルのセル上へ修正後の計算式、EXCEL関数を再設定してから、再度Designerへ取込んで頂くことで計算式、EXCEL関数がConMas用に再調整されます。

